

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業点検・評価調書

4-
-8

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	ガイド窓口の設定
	節	ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	8 ガイド窓口の設定		事業主体	佐渡観光協会
	事業実施期間	H28～H34		関連団体 佐渡市世界遺産推進課、佐渡市農林水産課、佐渡市観光振興課、佐渡市社会教育課、佐渡を世界遺産にする会
事業概要	【事業目的】 ガイド窓口の設定により、利用者の利便性向上を図る。			
	【事業内容】 予約受入窓口とガイド運営体制を整備する。			
⑨ 事業計画と実績	【29年度計画】 各ガイド組織との調整会議を定期的に行い、課題の把握に努めると共に、ガイド運営体制整備のための対応策を具体的に検討する。			
	【29年度実績】 笹川集落ガイドの組織化により受入れ窓口と観光協会予約窓口の整理を行った。 両津・相川・南佐渡の各案内所間のガイド予約連絡体制の調整を行った。			
課題・今後の取組	【課題】 観光案内及びガイド手配についての体制づくりの検討が必要である。			
	【今後の取組】 ガイドの予約窓口を一本化するため、各ガイド団体間との調整を行っていく。 観光案内と施設の案内、ガイドの手配を行うための運営体制の構築を図る。			
事業評価	【事業の達成度】 (a (b) c)			
	【事業実施の効果】 (a (b) c) 笹川集落ガイドの組織化と予約の連絡体制づくりを推進できたことからBとした。			
	【総合評価】 (A (B) C)			

a: 進んでいる。高い。

b: 概ね順調。概ね適切。

c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。

B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。

C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。